

コミュニケーションニュース

Communication News

近畿大学校友会 東京支部会報

ホームページアドレス
<http://www.kindai-kouyukai-tokyo.com>

第11-2号

発行日

平成23年12月20日

支部長／宮川正博 編集・文責／広報委員会 連絡先／〒132-0021 東京都江戸川区中央2-31-10-404(株)正栄設備 TEL.03(3674)2472 FAX.03(3674)2486

近畿大学校友会東京支部新年会のご案内

日時 平成24年2月2日（木）
午後6：30～午後9：00

場所 かに道楽新宿本店
新宿区新宿3-14-20 テアトルビル7・8F
TEL 03-3352-0096

会費 10,000円

ゲスト 高砂親方、伊勢ヶ濱親方、若松親方（元朝ノ若）、
誉富士、宝富士閑太

協賛品 可能な方はお願ひいたします。
当日、抽選でプレゼント致します。

皆様、お誘い合わせの上、是非ご参加くださいますようご案内申し上げます。
尚、準備の都合上1月15日までに返信はがき、TEL又はFAXにて、
参加をお知らせ頂きたくお願い致します。

又、当日は受付が混雑しますので事前に会費の振込みをお願いいたします。

連絡先 近畿大学校友会東京支部
TEL 03-3674-2472
FAX 03-3674-2486
携 帯 090-3809-0304
松元幹事長までお願ひします。



近畿大学校友会東京支部 支部長より平成24年新年の挨拶

近畿大学校友会東京支部
支部長 宮川 正博



校友の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
昨年は未曾有の大震災に見舞われ、我々一人一人が、自らの生き方を改めて考えさせられた一年でもありました。

未だ低迷している日本経済は、アメリカやヨーロッパの経済危機が波及して一層難局を実感する状況です。
このような厳しい状況においても復興支援につきましては校友先輩諸兄の途切れることのない支援を心よりお願ひいたします。

母校においては昨年9月の世耕弘昭理事長のご逝去に伴い新たに参議院議員の世耕弘成理事長が就任され、
新体勢での近畿大学が始まろうとしています。

又東京支部も若い松元幹事長（61卒）を先頭に色々な支部活動を企画立案し支部校友の皆様に参加していただきたいと思っております。

更なる先輩諸兄のご協力ご支援をお願いいたします。

各催しの案内を東京支部ホームページに記載しておりますので、ぜひご利用の上ご参加いただけますよう
お願ひいたします。

近畿大学校友会東京支部役員協賛広告

米原ゴルフ倶楽部
代表取締役
平尾 秀博
昭和39年理工学部土木工学科卒

株式会社 正栄設備
代表取締役
宮川 正博
昭和46年工学部経営工学科卒

株式会社 小田原魚市場
近畿大学校友会東京支部副幹事長
志賀 良典
昭和51年農学部水産学科卒

一般社団法人日本プロ野球名球会
事務局長
松元 潤一
昭和61年商経学部商学部卒

『やればできる、を示した小惑星探査機「はやぶさ」の快挙 岡田 幹治

7年にわたる長旅の末、昨年6月に地球に戻ってきた小惑星探査機「はやぶさ」は、3億キロメートルも遠く離れた星から小さな砂の粒（岩石質微粒子）を約1500個も持ち帰りました。月以外の星に着陸して、人類が「もの」を手に入れたのは初めてのことです。その砂の粒は今、内外の研究施設で詳細に分析されています。研究が進めば、私たちの住む地球と、そのおおもとである太陽系の誕生について大きな発見がもたらされるかもしれません。

地球や太陽系誕生の謎を探る イトカワの岩石採取が使命

はやぶさは、軽自動車の半分くらいの大きさの本体に、広げると全長が5・7メートルになる太陽電池の翼がついています。何度も絶体絶命のピンチに陥りながら、運用チームが一丸となった執念の遠隔操作で使命を完全に果たしました。その旅は、手に汗をにぎるドラマのようでした。

国の研究機関（宇宙航空研究開発機構＝JAXA）と企業（NEC東芝スペースシステムなど）が共同でつくった「日の丸探査機」はやぶさは、2003年5月、国産のロケットで打ち上げられました。

目指したのは、「イトカワ」という小さな惑星です。日本で最初にロケットを開発した故糸川英夫博士にちなんで名づけられたこの星は、長いところが535メートルのピーナツ型をしています。

小惑星は、46億年前に太陽系が誕生した時、地球のような惑星になりそこねたものなので、46億年前のようすが今も刻まれている可能性が高く、「太陽系の化石」とも呼ばれています。はやぶさの使命はイトカワの岩石採取でした。

生命線の装置が故障トラブル 地上と交信できず行方不明に

はやぶさには「世界初」の技術がいくつも盛り込まれています。

たとえば、本体に4基ついている推進用の「イオンエンジン」です。イオンエンジンはキセノンという元素に電気を帯びさせ、その静電気で探査機を動かします。地上では1円玉を

持ち上げるくらいの力しかありませんが、重力のない宇宙では、時速5000キロにまで加速できます。しかも電力は太陽電池パネルから得るので、燃料のキセノンはごくわずかで済みます。耐久性に乏しかったこれまでの欠点を克服したイオンエンジンを、日本の技術者が開発しました。

重力が地球の10万分の1しかない小惑星での岩石採取も、前例のないことです。シャベルでくう動きをすると、反動で宇宙へ放り出されてしまいます。そこで、はやぶさが着陸した時、弾丸を発射し、碎けた岩石が筒を上がってくるのを回収する仕組みにしました。

飛び立ったはやぶさには、トラブルが次々と襲ってきました。最初の危機は、2年4か月かかってイトカワに到着した後に起きました。着陸の際、何度かバウンドしたため、姿勢制御用の装置が故障したのです。

はやぶさにとって姿勢は生命線とも言えるものです。太陽電池パネルが太陽の方を向かなくなり、動力が失われました。アンテナも地球の方を向かなくなり、神奈川県相模原市にあるJAXAの管制室と交信できなくなりました。はやぶさが行方不明になってしまったのです。

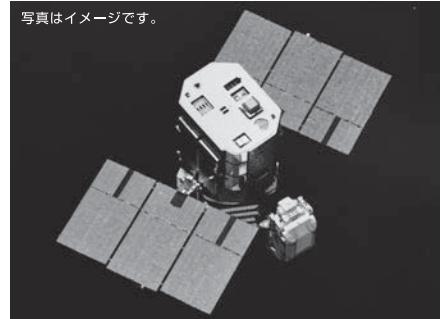
何度も襲った危機を乗り越え 貴重なカプセル回収に成功

しかし、はやぶさプロジェクトリーダーの川口淳一郎JAXA教授はあきらめませんでした。交信の可能性のある方角へ向けて電波を出し続けます。「意地と忍耐と神頼みの日々」でしたが、7週間後に交信に成功し、姿勢を立て直します。

他の故障も修理したはやぶさは07年4月に帰途につきますが、帰途もトラブル続きでした。最大の危機に見舞われたのは、地球を目の前にした09年11月のことです。イオンエンジン4基のうち3基までが故障してしまったのです。

さすがの川口マネージャーもこの時は「もうダメかと思った」そうですが、「故障箇所の違う2基をつなぎ合わせ、1基分の推進力を出す」というアイディアが提案され、乗り切

写真はイメージです。



りました。

最後の難関は大気圏への突入です。はやぶさは高度7万メートルでカプセルを分離し、イトカワの微粒子を無事に地上へ届けなければならぬのですが、このとき1万度℃にもなる高熱に包まれるのです。

昨年6月13日、はやぶさ本体は、バラバラになりながら満月より明るく燃え上がり、消えていきました。その中から飛び出したカプセルは、オーストラリアの砂漠に落ち、無事回収されました。新しく開発された強化樹脂製の熱シールド（防護材）が高熱から守ったのです。

こうして約60億キロに及んだはやぶさの旅は、予定より3年遅れて終わりました。60億キロとは、月へ約8000回往復した距離、あるいは太陽まで20回往復したのと同じ距離です。

はやぶさは人工頭脳を持ち、カメラで撮影した画像などを使って自律運行もできます。そのため、川口マネージャーは帰還後「我々も努力したが、ここまで来られたのは、はやぶさ自身が助けてくれたからだ」と述べました。このような点にも日本の技術力の高さが現れています。

何度も危機を切り抜け、いつしか「不死鳥」と呼ばれるようになったはやぶさとその運用チーム。その姿は多くの人に感動を与え、「どんなときもあきらめない」ことの大切さを教えてくれます。

「SOLA103号より」
昭和61年 商学卒 松元潤一

なぜ「法整備の棚卸」が必要なのか？

ひとことで言えば、東日本大震災で新聞・テレビといったマスメディアの報道で真っ先に感じたことは、被災地での土地の所有権の内なる声（何をどうすればよいか…）と津波被害にあった古文書の修復活動をどのように

支えるべきかを考えることでした。

東日本大震災の被災状況や対応状況について、メディアは「基幹自治体が被災で機能しておらず、津波で家屋などが流され、戸籍地籍が分からず、そのデータも残っていない」と

昭和47年 商学科卒 上田彰一郎

ろがあるため、従来の仕組みでは、復旧・復興が困難」との見解を示した。その上で「戸籍や地籍などの問題をソフト面から、新たな復旧・復興の仕組みを構築する必要がある」とある土木業界の団体は訴えている。行政で

はもっと具体的に「復興には、法整備や財政面であらゆる手を打たなければならぬといふ今後の取組みを示した。」このことは、たぶん、被災地の復旧・復興するためには、個人が持っている所有権の制限しなければその効果が期待でないと復興にあたる行為者が考えているように思われました。一体なぜこの緊急事態の最中にこのような法整備をおこなうのか分かりません。

一方、この事態に対する処方箋を次の様に考えました。「わが国の底流には幕末から明治維新にかけての激動を経て時代は明治に入り、西洋並みの法整備を緊急に行つた」という史実がありました。ここで注目すべきは、一世代前の法整備面の脆弱性（誰かが管理していてもその土地が国有地として台帳に記載されていないとか土地登記簿にもない、いわゆる脱落地の存在など）が震災で一挙に露呈してしまったのが原因の一つかなと思いました。

結局、まともな法整備をするためには、史実を忠実に理解し再評価する必要があると考え、そのために「道頓堀裁判」を棚卸し、少しでも早く障害となりそうな事を察知し、理

解と再評価することで意外なことも明らかになり、結果、東日本大震災の復旧・復興の対策に少しは役に立つのではと考えております。

さて、道頓堀裁判とは「安井道頓の子孫が1965年に道頓堀の河川敷地の所有権を主張して、国、大阪府、大阪市を相手取り裁判を起こしたが、1976年に請求を棄却する判決が出された。」この裁判では、もし原告の訴えが通り、道頓堀を埋め立てて更地とすれば地価の高い一等地になるということで当時話題になりました。裁判は昭和40(1965)年1月4日、大阪地方裁判所に提起され、10年半かかっています。争点は3つ、安井氏は道頓堀川の河川敷地に所有権をもっていたのか、江戸時代を通じて、安井氏の道頓堀川に対する関りあいの方は、所有権に基づく権力行使であったか、江戸時代の土地に対する関りあいの方は、明治以降の土地所有権制度とどう繋がるかである。

判決の結論は、昭和51(1976)年10月19日に判決が出されました。判決の内容は「道頓堀川は原告の先祖の努力により開削され、今日の道頓堀繁栄の基礎を築いた原告の先祖の功績はまことに多大である。しかし、こ

のことと河川敷地の所有権の帰属とは別個の問題であり、本証拠を検討しても、原告らが現在本件河川敷地の所有権を有するものとは認めることはできない。よって原告らの請求はいずれも棄却する」という内容でした。最後に、土地の所有権についてわたしが思うことをキーワードでまとめて終わります。

○ある土地が誰のものであるかということはどうして決まったのか。

【太閤検地】→【検地帳】→【田畠の流通】

○現在の土地所有制度は明治初年に成立したとされているが、それは江戸時代における人々の土地に対する関わり方とどうつながるのか。

【地租改正】→【官有地と民有地】

○権利を立証するための証拠は

【古文書類】→【書証】

「安井家文書」大阪市の博物館

<参考文献>

道頓堀裁判 牧 英正著

発行者：安江良介 岩波新書

発行年月日：1993年7月5日

平成24年前半の一木ゴルフ会の開催計画

平成24年前半の一木ゴルフ会の開催計画を作成いたしました、校友の皆様お誘い併せの上ご参加をお待ちしております。

1. 第65回記念大会

- 期日：平成24年1月19日（木）
スタートIN 8:42 (5組)
- 場所：佐倉CC
- 費用：11,650円（キャデー費、食事込み）、バーーー費、賞品代別

2. 伊勢カ瀬チャリテーゴルフ大会 兼第66回一木会同時開催

- 期日：平成24年5月29日（火）
- 場所：ヌーベルGC
- 費用：20,000円（昼食、バーーー、賞品代込み）

3. 第4回夏合宿

- 期日：平成24年7月19日（木）20日（金）
1泊2プレー（一日参加也可）
- 場所：千葉夷隅GC（初日）、米原GC（2日目）
- 費用：約33,000円
- 当クラブは同窓の平尾秀博さん（39年土木卒）が社長をされているコースで、いつも御世話になっています。宿泊は米原GCのコテージにて、個室のベットです。

一木会ゴルフ参加申込み連絡先

幹事：上手峰幸（昭和38年機械卒）☎047-430-1782
中谷隆男（昭和52年法科卒）☎090-6175-4397

歴史の街・岩槻健康ウォーキング参加者募集

ご家族、お友達の参加も可能です！

人形の町・岩槻をゆっくり歩く

人形の町として全国的に知られる岩槻。今なお多くの歴史と伝統が息づく、城下町です。総距離約7キロメートルを4時間かけてゆっくり歩きます。

歴史と桜の風景を楽しむ

当地は雛人形をいっぱい作っているところ。関東の風土記の桜名所めぐり、春風は寺社めぐり、あなたを縄文～現代の道へ導きます。

ウォーキング参加者募集！

近畿大学校友会東京支部は「歴史の街・岩槻ウォーキング」を開催。ガイドの説明を聞きながら、城下町・岩槻を歩きます。

ご参加のお申込は、ハガキに住所・氏名・電話番号・卒業年度学科・参加行事名を明記し、※平成24年3月末日（土）まで

〒132-0021 東京都江戸川区中央2丁目31-10-404 株式会社 正栄設備内

TEL: 03-3674-2472 FAX: 03-3674-2486

近畿大学校友会東京支部 幹事長 松元 潤一 (TEL: 03-3324-2180) へ。

実施日：平成24年4月15日（日曜日）

集合：午前9時30分

場所：東武鉄道野田線岩槻駅前改札口前

参加費：無料（交通費・昼食は自前で御願いします。）

コース：愛宕神社→久伊豆神社→中世城郭の面影を残す岩槻城址公園（黒門・人形塚・裏門）→時の鐘→埼玉県内で現存する唯一の藩校・遷喬館→酒造博物館（鈴木酒造）→郷土資料館のルート
観光ガイドの説明を聞き、雅な桜の景色を楽しめる

お問合せ：当日の緊急連絡電話

（株）正栄設備内近畿大学校友会東京支部

TEL: 03-3674-2472

FAX: 03-3674-2486

新役員の報告

(平成23年9月～平成25年8月)

相談役	八木 十洋造 (S28年機械卒)	幹事長	松元 潤一 (S61年商学卒)	幹事	尾上 良和 (S50年法律卒)
相談役	前 進 (S31年商学卒)	副幹事長	志賀 良典 (S51年水産卒)	幹事	各務 勇喜 (S57年商学卒)
相談役	松永 穎之 (S37年機械卒)	副幹事長	山下 貴志 (H06年経営卒)	幹事	保田 一樹 (H06年通法卒)
参与	赤坂 廣政 (S32年経済卒)	事務局長	上田 彰一郎 (S47年商学卒)	幹事	佐久間 勝 (H18年通法卒)
参与	村本 克己 (S36年機械卒)	会計	金城 敦 (S55年経済卒)	顧問	平尾 秀博 (S39年土木卒)
参与	上手 峰幸 (S38年機械卒)	会計監査	富田 久夫 (S48年原子卒)	顧問	佐古田 正道 (S40年呉工卒)
参与	田中 宏 (S40年機械卒)	会計監査	飯森 一雅 (S50年食栄卒)	顧問	楠 盾司 (S42年呉工卒)
支部長	宮川 正博 (S46年呉工卒)	事務局	中谷 隆男 (S52年法律卒)	顧問	大塚 乙衛 (S48年食栄卒)
副支部長	近森 英文 (S49年経済卒)	事務局	西崎 和夫 (S58年通司卒)	顧問	今津 久夫 (S48年食栄卒)
副支部長	吉川 幸雄 (H12年通法卒)	幹事	田中 敬志郎 (S46年九工卒)	顧問	鈴木 哲夫 (H08年通商卒)

23年度近畿大学校友会東京支部総会報告

昭和61年 商学卒 松元潤一

総会は、幹事の開会宣言に始まり、各務幹事の司会で定刻に宮川支部長が挨拶、今回参加いただいた校友会副会长高須康有様他ご来賓各位への御礼を述べ、支部運営が順調に推移してきたと会員各位の御協力への謝意を表した。特に近畿大学東京支部の若い校友の参加が、東



▲宮川支部長による挨拶

平成二十二年度経過報告、会計報告そして監査報告が各幹事からなされ全会一致にて承認された。経過報告では、四十二行事延べ三百九十一人の参加報告がなされた。続いて平成二十三年度事業計画案とそれに伴う予算案が上程可決された。

志賀幹事の集合写真撮影の後懇親会の部に入り、校歌斉唱の後、高須

来賓者	
近畿大学校友会副会长	高須 康有 様
近畿大学校友課課長	横山 良次 様
近畿大学東京事務所課長代理	山下ますみ 様
近畿大学静岡県支相談役	遠藤 能分 様
近畿大学静岡県支部長	杉村 博介 様
近畿大学愛知県支部長	原田 喜平 様

校友会副会长から総会のお祝いの言葉と本部校友会の近況のご説明を含めたご挨拶をいただいた。校友会東京支部八木相談役の御発声で乾杯の後「懇親タイム」に入り校友同士で旧友を温め、初対面の挨拶を交わす姿がそこかしこで繰り広げられた。

宴たかなわになったころ、ご出席の来賓各位の挨拶において、静岡県支部を代表して杉村支部長、竹谷リーダース東京支部幹事長より建設的な提言を含んだご挨拶を頂いた。次に「最近の大相撲の情勢」を高砂親方が紹介された

今回も各テーブル自己紹介と、続いて恒例となっているスポーツ芸能関係各校友、各幹事校友からのプレゼント抽選を担当幹事の、尾上、志賀各幹事さんにお願いし、近森前幹事長と松元新幹事長の司会で行い、会を盛り上げました。

最後に、前幹事長の演舞に合わせて近大節を合唱して盛り上がり、前相談役の中締めによりお開きとなりました。



▲「最近の大相撲の情勢」の高砂親方

平成23年度東京支部忘年会 (鈴々舎八ゑ馬君の落語会)

平成23年12月8日(木)午後7時より、神田の居酒屋（なぜか中日ドラゴンズファンのたまり場）で、鈴々舎八ゑ馬君こと大谷亮校友(平成10年経営学科卒)に二つ目昇進高座の忙しい中、東京支部校友の為に一席披露してもらいました。23名の出席者は初めて聞く落語に、笑いの間がつかめず戸惑いながらも最後は八ゑ馬君の迷？調子に、年忘れの酒もいっそう進みました。



▲迷？調子の鈴々舎八ゑ馬君



▲神田の居酒屋にて